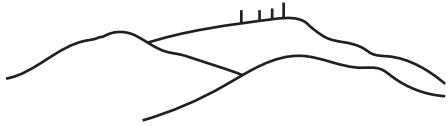


# Youth Manna

2022/3/7 - /3/13



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/3/7(月)

## ヤコブ 1:1-11

様々な試練に会う時は、それをこの上もない喜びと思いなさい (2)。

試練=誘惑や迫害、字義通り自分にとって難しいこと、複雑な感情が現れること。今、みんなにとっての試練 (例: どうしても自分を律せないこと、いつもモヤモヤする思考のパターン、ぶつかる壁) はあるかな?

ヤコブは、試練を喜びと思いなさい、と言っている。それは、私達は試練により何一つ欠けたところのない完全な者となる (4) からである。私達が壁にぶつかる時、それはイエス様が私達のために光を照らして解放したいと願っている部分なのかもしれない。

試練を受け入れる鍵は、①個人的に: 少しも疑わずに信じて祈る (6) ②みんなで: 家の教会のお友達に話し、祈ってもらうことにあるのではないだろうか。今日の終わりに、自分にとっての試練だったことを振り返って、祈ったり、信仰の友に話したりしてみよう!

2022/3/8(火)

## ヤコブ 1:12-27

私たちが試練だと感じるものの一つに誘惑がある。しかしそれは神様からのものでなくて、誘惑にあうのは、自分の内側にある欲望が原因なんだ。

そしてそれらを内側に持ち続けることは恐ろしい結果を生むと書いてあるね (15)。だから、これは罪だと気づいた瞬間に、悔い改めることが勝利だよ! 先延ばしせず、そのままにせず、砕かれた悔いた心で神様の前に出よう。

続けて、怒るのに遅くあるように、また、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、みことばを素直に受け入れるようにと勧められている (19-21)。みことばを聞いて行う人とはどのような人か、みことばを読みつつ思い巡らそう。今日の自分の歩みがそのような歩みとなるように祈ろう!

2022/3/9(水)

## ヤコブ 2:1-13

この箇所ではヤコブは、最高の律法である隣人愛に基づき、人を差別してはならないと教えている。

まず、模範であるイエス・キリストへの信仰が与えられていることが大切である。私たちはキリストに倣う者であるがゆえ、えこひいきや人を差別することは、ふさわしくない行いなのである (1-7)。この教えは、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法に基づいて教えられる。みことばを信じて行うことによって、私たちは主の聖さにあずかり、実を結ぶようになる (8-11)。

もう一つ大切なのは、私たちの行いが裁かれるということである。その時「よくやった。良い忠実なしもべだ」(マタイ 25:21) と言われるように、みことばを熱心に行う者となろう。

2022/3/10(木)

## ヤコブ 2:14-26

今日の箇所では、行いのともなう信仰がキリスト者には不可欠であるとヤコブは教えている。

信仰は行いがともなわなければ何の意味もない。知ることが救いではないからである。なぜなら悪魔ですら神様を知っている。だからヤコブは行いのない信仰は無益だと語っている。

行いのともなう信仰生活を歩めているだろうか? 困っている人がいたら助けることもしらばな神様の愛を流すことである。みことばを行う者となり続けられるよう祈ろう!!

2022/3/11(金)

## ヤコブ 3章

私たちは、自分が普段どのようなことばを口にしているか、考えてみたことがあるだろうか。ヤコブはことばを発する舌の恐ろしさを語っている。舌で神を賛美し、同じ舌で人を呪うということは決してあってはならないことだけど、現実そうになってしまうのだろうか。

口から出てくるものは心から出てくる (マタイ 15:18)。だから、ことばで過ちを犯さないためには、自分の心を見張る必要がある。そこに神様からのものが満ちているのか、それとも別のもので満ちているかで、私たちのことばは変わってくるんだ。

神を恐れることは知恵の初めとあるように、今日、自分にこそ神様が必要だと認めよう。自分こそ正しいという思いを捨て、神様の前にへりくだって祈ろう。

2021/3/12(土)

## ヤコブ 4章

今日の箇所では人の間にある争いについて語られているね。私たちには自分中心に考えてしまったり、何かを要求したりする部分がある。だから、神様の方向を向いていないと、すぐに人をさばいたり悪口を言いたくなってしまう弱さがあるんだ。でも、イエス様は私たちに実際に愛をもって互いに愛し合うことを教えてくれたし、助け主として聖霊を送ってくださったね。だから神様の前にへり下るとき、私たちは尊敬し合い、愛し合う関係になれるんだ。

今、聖霊様を私たちの中にお迎えしよう! そして、実際に「今なすべきこと」を実践しよう!

2021/3/13(日)

## ヤコブ 5:1-12

今日の箇所では、終わりの日を覚えて、金持ちへの警告と兄弟への勧めがなされています。

この世でお金持ちになったとしても、それをただ自分のためだけに蓄え、神様の心を求めないならば、それは神様の目に悪の道だと語っているね。自分に与えられたものをまず感謝し、神様のためにささげて用いていこう!

また、ヤコブは農夫のようにさまざまな試練の中で忍耐し、神様の正しいさばきを待ち望むように勧められています。なぜならキリスト者にとって、イエス様の再臨は救いの完成を意味するからです。終わりには、すべての人がイエス様の前に立ちます。地上でどのような歩みをして、イエス様にお会いするか、自分にも必ずその時があることを覚えて生きていこう! 終末の時代に、さまざまな試練に会う私たちに、神様はどのような素晴らしい約束をしてくださっているか、聖書を開いて確認し、家族や教会の友達と分かち合いましょう!